



2020年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月12日

上場会社名 アース製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4985 URL <https://corp.earth.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川端 克宜
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 グループ経営統括本部 (氏名) 三塚 剛
 本部長 TEL 03-5207-7458
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	45,441	4.3	5,159	245.9	5,143	225.8	3,387	337.5
2019年12月期第1四半期	43,574	6.1	1,491	24.5	1,578	29.2	774	53.3

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 3,775百万円 (246.3%) 2019年12月期第1四半期 1,090百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	167.41	
2019年12月期第1四半期	38.30	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	118,680	45,916	35.1
2019年12月期	107,425	44,322	37.3

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 41,715百万円 2019年12月期 40,037百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		100.00	100.00
2020年12月期					
2020年12月期(予想)		0.00		100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	105,500	1.4	10,400	40.5	10,650	41.3	6,970	49.9	344.51
通期	187,000	1.3	4,600	17.5	5,000	15.6	2,550	104.0	126.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期1Q	20,237,500 株	2019年12月期	20,237,500 株
期末自己株式数	2020年12月期1Q	4,940 株	2019年12月期	4,890 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期1Q	20,232,592 株	2019年12月期1Q	20,215,233 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断した一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済について、国内景気は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、東京2020オリンピック・パラリンピックの延期、緊急事態宣言の発令など状況が時々刻々と変化するなかで停滞感が急速に強まっており、今後の先行きについても極めて不透明な状況となっております。また、当社グループが展開に注力するアジア地域も、アメリカ・中国間の通商問題の動向に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、人やモノの移動が制限され経済活動が大きく停滞し、景気は減速傾向で推移しております。

このような経済状況のなか、当社グループは2016年に公表した中期経営計画のとおり、経営理念「生命と暮らしに寄り添い、地球との共生を実現する。」のもと「お客様目線による市場創造」を重視し、『海外展開の強化』『収益力の向上』『グループシナジーの最大化』に加え、成長力と収益性の双方を高める経営を進めてまいりました。なお、当該中期経営計画については本年度を最終年度とし、2021年から開始する新たな中期経営計画を2020年2月に公表しております。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績については、売上高は454億41百万円(前年同期比 4.3%増、計画比 103.7%)、営業利益51億59百万円(前年同期比 245.9%増、計画比 183.3%)、経常利益51億43百万円(前年同期比 225.8%増、計画比 177.4%)、親会社株主に帰属する四半期純利益33億87百万円(前年同期比 337.5%増、計画比 207.0%)となりました。

当社グループの経営成績に重要な影響を与えた要因としては、以下の点であると認識しております。

- ・ 虫ケア用品の初動や新製品の好調な出荷により、売上高が前年・計画ともに上回ったこと
- ・ 売上構成比の変化により原価率が改善し、売上総利益が前年・計画ともに上回ったこと
- ・ マーケティング費用の抑制を図り、販管費比率が前年・計画ともに下回ったこと

(連結業績)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (実績)	当第1四半期 連結累計期間 (計画)	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比	計画比
売上高	43,574	43,800	45,441	+4.3%	103.7%
営業利益	1,491	2,815	5,159	+245.9%	183.3%
経常利益	1,578	2,900	5,143	+225.8%	177.4%
親会社株主帰属四半期純利益	774	1,636	3,387	+337.5%	207.0%

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

[家庭用品事業]

家庭用品事業におきましては、新製品投入による新規ユーザーの開拓、既存製品のリニューアルによる製品価値の向上とともに、広告宣伝や魅力ある売場づくりなどお客様とのコミュニケーション施策を通じて、市場の活性化に努めました。また、製造コストや販売にかかるコストの低減を図り、収益性の改善に努めました。

当第1四半期連結累計期間における当事業の業績については、全国的な記録的暖冬を受けた虫ケア用品の好調な初動や今春発売した新製品の売上寄与などにより、売上高は414億76百万円(前年同期比 2.9%増)となりました。利益面では、増収及び売上構成比の変化に伴う原価率の改善により売上総利益が増加したことに加え、マーケティング費用を抑制したことで、セグメント利益(営業利益)は47億73百万円(前年同期比 271.5%増)となりました。

(家庭用品事業の業績)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
虫ケア用品部門	15,746	16,315	568	3.6%
日用品部門	22,772	23,100	327	1.4%
口腔衛生用品	9,417	10,255	838	8.9%
入浴剤	4,742	4,838	96	2.0%
その他日用品	8,612	8,005	△606	△7.0%
ペット用品・その他部門	1,793	2,061	267	14.9%
売上高合計	40,312	41,476	1,164	2.9%
セグメント利益(営業利益)	1,284	4,773	3,488	271.5%

(注) 売上高にはセグメント間及びセグメント内の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第1四半期連結累計期間では2,696百万円、当第1四半期連結累計期間では2,258百万円です。

部門別の主な状況は次のとおりであります。

虫ケア用品部門

国内においては、東・西日本を中心に全国的に記録的な暖冬となったことを受け、出荷が好調に推移したことに加え、ハエ・蚊用エアゾール『アースジェット プロプレミアム』など新製品の寄与もあり売上を伸ばしました。また、海外においては、タイを中心に好調に推移しました。

以上の結果、当部門の売上高は163億15百万円(前年同期比 3.6%増)となりました。

日用品部門

口腔衛生用品分野においては、洗口液の新製品『モンダミン プレミアムケア ストロングミント』の売上寄与に加え、知覚過敏予防ハミガキ『シュミテクト』が引き続き好調に推移したことで、売上高は102億55百万円(前年同期比 8.9%増)となりました。

入浴剤分野においては、入浴剤市場の拡大に伴い粒剤タイプの『きき湯』シリーズ、分包タイプの『日本の名湯』シリーズなどが好調に推移し、売上高は48億38百万円(前年同期比 2.0%増)となりました。

その他日用品分野においては、新型コロナウイルス感染症の拡大によりマスク『快適ガード』が売上を伸ばしましたが、レキットベンキナー社と2019年末に販売業務提携契約を解消した影響で、売上高は80億5百万円(前年同期比 7.0%減)となりました。

以上の結果、当部門の売上高は231億円(前年同期比 1.4%増)となりました。

ペット用品・その他部門

ペット用品分野においては、既存製品のリニューアルや積極的な販売促進施策によりタオル・クリーナーなどのペットケア用品が売上を伸ばし、当部門の売上高は20億61百万円(前年同期比 14.9%増)となりました。

[総合環境衛生事業]

総合環境衛生事業におきましては、主要な顧客層である食品関連工場、包材関連工場で原料やエネルギーコストの高騰によりコスト削減への動きが強まり、AIを組み込んだIoT・ICTの導入や製造機械高速化による製造工程効率化、工場の統廃合・集約化、海外への工場移転が進みました。また、消費者の「安全・安心」に対する意識の高まりや、工場での労働者確保が困難になっている現状を背景に、当社がターゲットとしている市場において、衛生管理へのアウトソーシングニーズは増しており、当事業が提供する高品質の衛生管理サービスへのニーズが高まる状況でありました。

このような状況のなか、人材の採用・育成、業務効率の改善を目的としたソフトウェア等の開発など、お客様のニーズに速やかに対応できる社内体制構築に向けた投資を積極化するとともに、技術開発力の強化により差別化された品質保証サービスを提供することで、契約の維持・拡大を図りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当事業の売上高は62億50百万円(前年同期比 4.5%増)、セグメント利益(営業利益)は3億87百万円(前年同期比 20.8%増)となりました。

(総合環境衛生事業の業績)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	5,982	6,250	267	4.5%
セグメント利益(営業利益)	320	387	66	20.8%

(注) 売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第1四半期連結累計期間では24百万円、当第1四半期連結累計期間では26百万円です。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて112億54百万円増加し、1,186億80百万円となりました。これは主に、売上債権及びたな卸資産の増加によるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて96億61百万円増加し、727億64百万円となりました。これは主に、仕入債務及び短期借入金の増加によるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて15億93百万円増加し、459億16百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて2.2ポイント低下し、35.1%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しておりませんので、記載を省略しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の事業への影響を現時点で合理的に見積もることは困難であるため、今後合理的な算定が可能となり、開示が必要と判断された時点で速やかに公表する予定です。従いまして、現時点での業績予想は新型コロナウイルス感染症の影響を含めない前提で2020年2月13日に公表した通期の業績予想を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,312	6,935
受取手形及び売掛金	22,610	29,830
有価証券	100	100
商品及び製品	17,990	22,065
仕掛品	871	767
原材料及び貯蔵品	3,645	3,981
その他	2,218	2,268
貸倒引当金	△39	△44
流動資産合計	54,710	65,905
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,748	28,749
減価償却累計額及び減損損失累計額	△14,540	△14,700
建物及び構築物(純額)	14,208	14,048
機械装置及び運搬具	14,929	14,859
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,524	△10,675
機械装置及び運搬具(純額)	4,405	4,183
土地	7,944	7,906
リース資産	210	233
減価償却累計額及び減損損失累計額	△168	△176
リース資産(純額)	41	57
建設仮勘定	160	392
その他	8,271	8,431
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,812	△6,959
その他(純額)	1,459	1,471
有形固定資産合計	28,220	28,060
無形固定資産		
のれん	8,913	8,188
その他	4,230	4,099
無形固定資産合計	13,143	12,288
投資その他の資産		
投資有価証券	6,681	7,574
退職給付に係る資産	3,097	3,158
繰延税金資産	500	658
その他	1,075	1,039
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	11,351	12,426
固定資産合計	52,715	52,774
資産合計	107,425	118,680

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,778	32,888
短期借入金	13,882	19,932
1年内返済予定の長期借入金	3,284	2,959
未払金	6,566	4,087
未払法人税等	1,771	1,938
未払消費税等	1,047	658
賞与引当金	229	1,304
返品調整引当金	609	446
その他	2,827	2,779
流動負債合計	56,997	66,995
固定負債		
長期借入金	3,550	3,055
繰延税金負債	967	1,132
退職給付に係る負債	500	475
資産除去債務	464	465
その他	622	639
固定負債合計	6,105	5,768
負債合計	63,102	72,764
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,478	3,478
資本剰余金	3,509	3,509
利益剰余金	31,798	33,162
自己株式	△16	△16
株主資本合計	38,770	40,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,792	2,464
為替換算調整勘定	△424	△761
退職給付に係る調整累計額	△100	△122
その他の包括利益累計額合計	1,267	1,581
非支配株主持分	4,285	4,201
純資産合計	44,322	45,916
負債純資産合計	107,425	118,680

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	43,574	45,441
売上原価	26,421	26,247
売上総利益	17,152	19,194
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,267	1,342
広告宣伝費	2,027	1,187
販売促進費	3,761	2,908
貸倒引当金繰入額	1	6
給料及び手当	2,974	2,973
賞与引当金繰入額	797	855
旅費及び交通費	371	319
減価償却費	274	273
のれん償却額	651	613
地代家賃	277	326
研究開発費	593	585
その他	2,661	2,642
販売費及び一般管理費合計	15,660	14,034
営業利益	1,491	5,159
営業外収益		
受取利息	7	10
受取配当金	3	3
為替差益	9	—
受取ロイヤリティー	0	—
受取手数料	9	8
受取家賃	29	26
その他	61	21
営業外収益合計	121	69
営業外費用		
支払利息	29	18
為替差損	—	58
その他	4	8
営業外費用合計	34	85
経常利益	1,578	5,143
特別利益		
固定資産売却益	3	3
特別利益合計	3	3
特別損失		
固定資産売却損	0	8
固定資産除却損	14	8
投資有価証券評価損	—	45
特別損失合計	14	62
税金等調整前四半期純利益	1,567	5,084
法人税、住民税及び事業税	1,156	1,871
法人税等調整額	△447	△263
法人税等合計	708	1,607
四半期純利益	859	3,477
非支配株主に帰属する四半期純利益	85	90
親会社株主に帰属する四半期純利益	774	3,387

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	859	3,477
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	654
為替換算調整勘定	227	△336
退職給付に係る調整額	△4	△19
その他の包括利益合計	230	298
四半期包括利益	1,090	3,775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,000	3,701
非支配株主に係る四半期包括利益	89	74

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。